

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ネット販売等販路開拓支援事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="28"/> 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	1	地場産業の育成・振興			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市内の事業者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	インターネット等を利用した販路開拓を支援し、市内事業者の経営力向上を目指す。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	yahooショッピング、ぐるなび、クラウドファンディングなどを活用し、市内事業者の販路開拓を支援する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		事業活用事業者数		4	5	5	5	社

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	ぐるなびを活用し、市内事業者の販促ツールの作成やプロモーション活動を都内で実施。また、リッキービジネスソリューションが事務局である商談会「地方銀行フードセレクション2016」のブースを購入して、市内事業者4社を出展させた。このほか、市内JA及びなんと物産館にてなんと金時を購入いただいた方に知人を紹介いただき、なんと金時をプレゼントする「なんとのおいしいを広げようキャンペーン」を実施した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ぐるなびを活用したPR食材・加工品数	9				品
	2	紹介キャンペーン紹介者数	210				人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	事業活用事業者数		13	—	—	—	社
	目標達成率(実績/目標)		325.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	6,091	0	0	0	0	6,091
		全体予算額	6,091	0	0	0	0	6,091
		決算額	6,091	0	0	0	0	6,091
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.1	0.0	713	6,804			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	0	6,091	648	648	648
	うち一般財源	0	0	648	648	648
	人件費	0	713	713	713	713
	総事業費	0	6,804	1,361	1,361	1,361

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	外向きのPR及び販路開拓支援の手法としては概ね有効であった。
	効率性	B:概ね効率的だった	事務の効率化という点で、さらに向上する余地があると考える。
②成果に対する評価	指標名	事業活用事業者数	目標を超える実績があった。
	目標	4 社	
	実績	13 社	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		<b>B</b>	多くの事業者が事業を活用したが、手法や効率化に改善の余地があるため、B評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ぐるなびを活用したキャンペーン及び紹介キャンペーンについては廃止し、平成29年度以降は商談会を通じた販路開拓支援のみを継続実施する。商談会への参加を通じて、より販路拡大につながる可能性のある事業者を優先して掘り起こしてもらえよう銀行と連携して実施する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>2</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	平成29年度以降は事務事業名を鳴門産品販路開拓支援事業とし、商談会を通じた販路開拓支援を実施する。なお、第一地銀の「フードセレクション」に加えて、第二地銀の「食の魅力発見商談会」にも出展する。			
	H30年度	29年度の実施状況を見ながら、30年度の内容を検討する。			